



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第108号 (2022/4)

<http://www.ffi-saitama.com/>

パンデミックを生き抜き、戦争に出会う

会長 三好 紀子

2021 年、埼玉クラブの方向性を決定したのが、総会後の小グループの意見交換でした。対面で集まることが難しい現実を乗り越えるため、ZOOM 機能を使おう、IT に強い会員に教えてもらおうとグループ別に連続講座で学びあいました。この結果は目覚ましく、暑気払いは大盛況になりました。ZOOM だから集まりやすい利点を生かして、「英語の会」「読書会」「健康を語ろう会」がそれぞれのリーダーを得て活動を開始しました。

2022 年の総会後、FFJ が提案した国内交流について話し合いました。埼玉が誇れるプランを小グループで討論し、いくつも魅力的な案が出ました。全国の会員のみなさまをご案内できるよう、検討を進めています。もう一つのテーマ、FFI をどう支えたいかは寄付を中心に意見がまとまりましたが、myFF 登録については必ずしも積極的とはいえない状況です。「登録しようみんなで一緒に myFF」というのはいかがでしょうか。

そして埼玉クラブは創立 30 周年を今年 11 月に迎えます。3 グループに分かれて準備を始めました。記念事業は、全員がかかわる活動です。展開を楽しみながら、その成果を全員で受け取りましょう。

2 月 24 日に始まったロシアの軍事侵攻で、ウクライナの美しい町が破壊され、人命が失われ、ことばを失う事態が進行しています。埼玉クラブにとって、Kyiv は特別な響きを持っています。Kyiv 渡航のために作った LINE グループ上で、刻々の戦争の姿とニュースコメントが伝わってきます。モスクワ近郊に FF の特別プログラムで私が 1 週間お世話になったオルガさんがいます。「報道では何が起こっているのかわからない」と戸惑っています。2022 年は、厳しい時を世界中の人々が共に生きる特別な年になりました。

FF が 45 年にわたって培ってきた Friendship の精神が踏みにじられてはいけない、暴挙に負けてはいけないと強く思うとともに、ロシア軍の兵士も死んでいることを忘れてはなりません。



2022 年 オンライン FF 埼玉総会感想

西村 純枝

仲間と集い新年を共に喜び、総会後思い思いに食事やお茶を愉しみ、その年の受入れや渡航にワクワクし忙しいながらも私たち FF 会員に希望や活力そして感謝、充実した一年を共に確認するような総会。私にとっては年初の大きな楽しみの集いでもありました。



しかし、理事の方達の両方対応へのご苦労もコロナ禍で今年も対面総会ならずでした。しかしこの時期 Zoom という媒体も少し慣れてきており、会えなかったけれど中止にはならず、晴れて総会を持てたことに大いに感謝しております。さて、議事録配信によりすでにご存じの事と思いますが、振り返りをさせて頂き、いつも“well-organized!”と褒められる FF 埼玉クラブは、コロナ禍でも会員数を特に減らすことなく、あちらからこちらからも声をかけ合い、より進化していくクラブにみんなでするのだ！という熱い想いを感じ、改めてすごいな～と嬉しく思っているところです。

日時:2022 年 1 月 30 日(日) 10:00～11:45

会場:Zoom 総会 丸山・石橋 操作サポート

出席者: 会員 49 名中、過半数を超える 42 名(委任状による出席者 15 名) 総会は成立。

最初に三好会長から「当たり前のように活動していたがコロナ禍で 2 年間も活動がストップしたことは残念。しかし 2021 年は会員間で Zoom を使って積極的な会員同士の教え、学び合い・交流も芽生えた。

この間多くの会員の優しさにも触れ、元気で今日を迎えたことに感謝したい。」との挨拶に続き、議事が進行した。

2021 年度の事業報告(道江理事)、決算報告(橋本理事)、会計監査報告(浜・原田監事)

これらへの質疑応答後、画面上挙手での承認となった。次に無事承認された議題が続いた。

2022 年度事業計画(三好会長)

2022 年度予算(小暮理事)

総会後は、2 回のブレイクアウトで 5 グループに分かれて FF 埼玉が活気あるクラブとしてどうしたらよいだろうかなど楽しい(オンラインであることを忘れて)お喋りとなった。最後に道江理事から FF 埼玉らしい 30 周年行事を!とのメッセージがあり退出となった。

2022 年のグレイターシンシナティクラブの受入もこの状況を鑑みて 2023 年に延期することやむなしとなり、残念な気持ちと致し方ないな～との思いを共有することとなった。

2022 年のドイツ渡航予定への期待が膨らんだと同時にクラブ内での交流やオンラインでの他クラブ、他国とのイベントにも可能性を模索し、個人での FF 参加(myFF)へも視線を向けてみようかと思える総会だったかと思う。アナログの私としては、やはり、お茶でお菓子をもぐもぐ食べながらの総会が実現できることを楽しみに待ちたい!

新理事紹介



稲垣朋彦さん

新任理事の稲垣朋彦と申します。転勤で広島市から川越市に引越し 20 年目を迎えました。引越しに伴って始めたのがサイクリング。日本一の流域面積の利根川と日本一の川幅の荒川に恵まれた広大な大地を自転車で巡るのは最高です。甲武信ヶ岳、雲取山そして両神山と日本百名山の三座を眺めることができ、日本最大規模の円墳である丸墓山古墳や出雲の国に由来すると伝えられる氷川神社と我が国を代表する名勝に接することができます。広報を通じ国内外の方々にこの素晴らしい埼玉県の魅力を伝えてゆくのが使命と感じております。どうぞよろしくお願いいたします。

ワールドフレンドシップデイ (2022.2.23) Zoom で講演会

1. 世界の仲間と環境問題を語る

大熊 幸雄

フレンドシップフォース・インターナショナル FFI では、気候変動対策を重要視しており、2020 年 11 月と 2021 年 3 月に ZOOM ワークショップを開催しております。

2021 年 12 月 3 日 (金) The Climate Crisis in Japan「日本の気候危機」と題して Virtual Experience が実施されました。時間は欧米に併せて、夜の 9:30 (London では昼の 12:30) から 11:13pm まで。参加者は女性 11 名 男性 5 名、計 16 名で、日本から 10 名、海外から 6 名でした。

FFI 事務局の Valerie Malfara が司会を務め、まず、FF 大分クラブ事務局長で英語教諭の志賀喜久美さんがスライドを使ってプレゼンテーションを行いました。内容は①気候変動と最近の大分県の災害②25 年間気象観察をした市民の紹介③一昨年の球磨地方、昨年の熱海を襲った災害④中学生が被災者から行った聞き取りと感想⑤中学校における防災学習⑥私たちの SDGs です。大分県竹田市は竹林が有名で植林した杉林に繁茂する竹を伐採、抜根し人工林の手入れをしています。回収した竹材はボランティア活動として竹灯籠をつくり Bamboo Festival で展示したり、乾留してバンブーチャコール (竹の炭) をつくっています。

プレゼンが終わりディスカッションに移りました。Solothurn の Kurt から FF の交流に伴い航空機を利用しますが、FFI が取り組む航空機から発生する大量の CO2 の削減・環境負荷の低減方策について話がありました。これに関



次に FFI のプレゼン資料から「牛肉より大豆ミート」と題して、豚や鶏に比べて成長が遅い牛の肉を食べることはそれだけ環境の負荷を増すことになる、更に肉の代替品として大豆ミートの使用を推奨していることを説明しました。

また、日本の参加者から「お得な条件、初期費用 0 円で太陽光発電の設備が設置出来る。」と発言がありました。すると、アメリカのご婦人から「うまい話には気をつけた方がいいわよ。」と忠告が出されました。話によるといい加減な業者や詐欺まがいの契約があるらしく、良く調べる必要があるようです。

今回の Virtual Experience「日本の気候危機」は、my friendship force から Log in すれば、いつでも見ることが出来ます。この他にも多くのビデオが見られます。

私は 20 年程前、電話による英語の国際会議に出たことがあります。顔が見えず発言をしようとしても、なかなか会話に入れませんでした。今回、英語の ZOOM 会議には初めて参加しましたが、参加者の顔が見えて手を挙げれば発言の機会をいただけるので、楽でした。世界の仲間と意見交換できることは、フレンドシップフォースの醍醐味ですね。(2022.2.23 World Friendship Day 講演から)



Zoom で発言中の筆者

して、日本の大都市と地方都市における公共交通機関の状況、高齢者の運転や免許証の返上について私から発言をしました。

2. 火の国アゼルバイジャン

――埼玉大学の留学生に語ってもらいました――

Hajizada Nuray ハジザダ・ヌライさん

ホストファミリーの大山様からワールドフレンドシップデイの話を伺い、是非参加したいと思いました。それで、2月23日のオンラインでの会合に初めて参加し、母国のアゼルバイジャンを紹介させていただき、とても嬉しかったです。皆様はアゼルバイジャンに関して熱心に色々な質問をして下さいました。母国のことを少しでも案内させていただくチャンスを下さった皆様に本当に感謝しています。2時間の zoom での会合は私にとっては一生忘れられない思い出になりました。皆様、ありがとうございました。

Hər şey üçün təşəkkür edirəm. Yenidən görüşmək ümidi ilə...Sülh və sağlqla qalın!
(いろいろありがとうございました。またお会いできますように … 皆様に平和とご健康を！)



金曜モスク



大鍋料理サジ



フレイムタワーズ

ワールドフレンドシップデイに参加しての感想

太田哲二さん(三好会長の友人)

2月23日のワールドフレンドシップデイのオンラインでの会合に初めて参加させていただき、アゼルバイジャン出身で埼玉大学で学ばれているハジザダ・ヌライさんのお話をお聞きする機会に恵まれました。私自身、恥ずかしながら、アゼルバイジャンに関しては、名前くらいは知っていましたが、正確にどこに位置し、どんな歴史や文化を持ち、どんな人たちが暮らしているのか全く知りませんでした。

そのため、ヌライさんの「火の国アゼルバイジャン」と題しての興味深いお話をされた後、好奇心に駆られ、アゼルバイジャンの出生率、女性の社会進出、平均的な年収や産業などについて、いくつか質問をさせていただきました。

出生率は都市部では1~2人、地方では3~4人のケースが多いとのことでした。女性の社会進出に関しては、約70%の方が共働きで、共働きが一般的になっているが田舎では割合が低い、そして女性はたとえ、大学や大学院を卒業された高学歴の方々も結婚後は家庭に入るのが一般的だとのことでした。

日本では30年前に比べても年収が下がっている状態ですが、アゼルバイジャンでは年収は上昇傾向で、特に石油関係、行政関係者の年収は上がってきているとのことでした。日本の高度成長期と重ね合わせて興味深くお聞きしました。日本とアゼルバイジャンは外交関係樹立後、今年で30年の記念すべき年だそうで、友好のスローガンが「われらの太陽を燃やせ」だそうです。「日出ずる国日本」と「火の国アゼルバイジャン」の共通点が面白いなと思いました。

現在、世界を見渡すと、ロシア、ウクライナ問題をはじめとして中国の台湾併合の動きなど平和とは程遠い状況です。ただ、こういう時代だからこそ、世界中の人々がお互いの民族や文化や考え方の違いを理解し合うことが重要なのだと思いました。因みに Friendship Force International が掲げるスローガンは“A world of friends is a world of peace”だと教えていただきました。世界中の人々が互いに民族や文化の違いを超えて友達になることが平和への道につながるのだということを再認識させられました。

3. Halle/Saale について

丸山 由喜雄

FF 埼玉は、今年ドイツのHalle/Saale Club への渡航を予定していましたが、延期されました。

World Friendship Day で、Halle/Saale (以下「ハレ」という)を紹介しました。

1 ハレの位置、気候

ハレは、旧東ドイツにあり、ライプツィヒから北西へ33km の場所に位置しています。平均気温は、一年を通して東京より5～10度ハレの方が低いです。ハレは、夏は涼しく、冬は寒いことを示しています。

2 ハレの歴史

「ハレ」という語はケルト語で「塩」の意味とされるが、古いドイツ語で「製塩所」を意味するという説もあります。ハレは濃い塩水を出す塩水泉があり、近辺にはヨーロッパでもっとも古い青銅器時代の製塩所跡があります。

11世紀には、都市の初期形態をなしていました。13世紀末期から15世紀末期までハンザ同盟に加盟し繁栄を迎えました。1694年に Fridericiana 大学が設立され、ドイツ啓蒙主義の中心地の一つへと発展した一方、ナポレオン戦争ではハレの戦い(1806年)によってフランスに占領され、1815年にプロイセン領ザクセン州の一部になりました。

第二次世界大戦では、奇跡的に空襲をあまり受けず、沢山の歴史的建造物が無傷で残っています。1989年にベルリンの壁が崩壊し、1990年にドイツ再統一が達成され、今日に至っています。

3 The Friendship Force Halle (Saale)

クラブは、1991年に設立され、メンバーは、34人です。交流は、今まで渡航を39回、受入れを44回行っています。

4 ハレのお祭り、観光スポット

(1) ヘンデル音楽祭

毎年6月に開催され、市内各地で、オペラやコンサートなどが開催されます。

(2) ランタン祭り

ザーレ川岸で、毎年8月下旬に開催されます。ライブ音楽、アヒル競争、水上竿つき試合などが行われ、陽が沈むと岸边と水上の船に無数のランタンが灯ります。最後は、クライマックスの花火で終わります。



ランタン祭り(出典:Wikipedia)

(3) マルクト広場

市の中心に、おおきな広場があり、お祭りなどの催し物に使用されます。広場の中には、ヘンデル像や鐘楼(Roter Turm)があります。



マルクト広場(出典:Wikipedia)

(4) マルクト協会 (聖マリア教会)

1529年から1554年の間に建てられました。宗教改革の立役者マルティン・ルターは、ここで最後の説教を行いました。内部には宗教画やルターのデスマスクがあります。

(5) ヘンデルハウス

ヘンデルの生家があり、ヘンデルハウスという博物館として見学できます。ヘンデルハウスは楽器だけでなく、原稿、写真、本や音楽の重要なコレクションを収容しています。



ヘンデルハウス(出典:Wikipedia)

○ Mrs. Iris Kroll, President of Halle (Saale)Club と ZOOM で顔合わせしたときにいただいた言葉です。

I'll invite you in the name of all the members of Halle Club. We welcome you at the end of August this year.Come to us, visit us, and we'll show you what German club looks like.

Zoom で活動中♥ 3つのグループ

読書会

道江 幸江



大熊さんをリーダーにて昨年11月の発会からこの3月にて3回目の読書会を開きました。5名のメンバーと少数ですが、バタバタと忙しいのは皆同じ。そんな中、みんなで読み得のある500ページ程の本を選び、感想を言い合えることにとても喜びを感じます。第1回「十五の夏」佐藤優著 浦高合格祝いに 15 歳にて1人東欧、旧ソ連の旅。友人や出会った人々の話が鮮烈でとても面白く話題豊富。

第2回「また桜の国で」須賀しのぶ著 シベリア孤児との出会いから外交官になりワルシャワでのナチスドイツとの激戦の話。今のウクライナと重なります。深く余韻の残るお薦めの本です。

第3回「ザリガニの鳴くところ」ディーリア・オーエンス著 ミステリーなのですが、「湿地の少女」と呼ばれ6歳で家族に見捨てられたたった1人で生きなければならなかった。暴力、黒人差別、貧困(ホワイトトラッシュ)男女格差が素晴らしい自然描写と共に書かれて色々な感想意見で盛り上がりました。次回は5月31日(火)午後4時からZoom で開催です。「日本奥地紀行」イザベラ・バードの本。これからの2か月この本で色々なことが学べると思うとわくわく致します。皆様もぜひご参加ください。

健康を語ろう会

川田 恵美子

講師岩崎先生の健康定番レシピで月 2 回(水)に総勢 10 名のメンバーが、Zoomでストレッチ、筋トレに励んでおります。

3 月 23 日の recipe は、太ももの筋肉を鍛える。大腿四頭筋は歩行をするために大切な筋肉、鍛えることで認知症の予防が期待できるそうです。階段をのぼる、walking を 30 分位、ちょっときつい運動をすると良いとの事。そして、色々な食材を使ったバランスの良い食事は不可欠とのお話を。その後は実践です。顔、耳のマッサージに始まり足首回し、踵落とし、股関節回し等々…。深いため息が出たり、笑いが巻き起こったり、皆さんと和気藹々運動させて頂いてます。岩崎先生いつもありがとうございます！！



英語の会

山本 久美子

《英語の会》は 2021 年 11 月からスタートしました。教師歴の長い沼純子さんのご指導により、BBCや Japan Times 等の時事的な記事で勉強、脳が若返る時間です。発言は日本語でもよいことになっていますが、しっかりと英語で意見を述べる優等生諸氏に感服、良い刺激をもらっています。難しい文章に出くわすと活発な質問が上がります。沼先生の見事な解説で疑問が解消。「あー、そうか！なるほど、わかった！」と思えた時の爽快な気分は得も言われません。約2時間の講座のメニューにはライティングやスピーチのプレゼンテーションもあります。その中で明かされる各自の趣味、日々の出来事にはお役立ち情報がいっぱい興味を尽きません。たとえば1月はお正月の過ごし方やおせち料理が紹介されました。沼家の黒豆にはびっくり。何と電子レンジで柔らかくできてしまうのだとか。おもしろい学びがたくさんあります。誰もが参加できるこの企画。運営にご尽力して下さるボランティアの方々に感謝の念でいっぱいです。



会員おしゃべりコーナー

Time flies 2013 年 11 月 New Orleans 世界大会

太田 和子



夜のクルーズ

桜の時期になりました。今年もゲストを迎えられず残念です。古くなりましたが 2013 年の世界大会出席と其の後のホームステイの事です。入会 2 年目のお誘いで参加を決めたのは FF とはどういう団体なのかという好奇心からでした。

ニューオーリンズの世界大会で出席者 700 名、内 30 名の日本人の構成で、巨大なホテルの受付を済ませて翌朝から workshops の始まりです。社会派のデバートのクラスから簡単料理クラスまで種々雑多。それが午後まで有りました。日本人は少ないので一つのクラスに一人の感じ。夜は解放され独特のお祭り騒ぎも楽しく経験。圧巻は最後のガラパーティーで民族衣装で正装し其々名刺交換、友情交歓、写真交換、世界大会の意図は皆様と親しくなり、次の渡航に繋げることですね。実際その時 NY からのご夫婦にお逢いし、翌年の NY でのホームステイになり私も参加でき感激しました。これが世界大会出席の醍醐味ですね。積極的に参加する事が繋がる事。インドネシア、韓国、台湾から参加者もいて、FF は巨大な組織と実感しました。

其の後は皆別々に、私はカリフォルニアのサクラメントに 1 人で 4 日のホームステイ。少し稀有な体験でした。ホストマザーが毎朝 9 時に 2 カ所の老人ホームに連れて行った事(母と叔母が入居者)、その時分は戸惑いがあつたけれど、今だったら積極的に覗いたでしょうね。ホームの働き手は白人以外の人ばかりでした。1 日脳障害を持つ娘さんが泊りに来て、床に寝てくれた事。Thanks giving day で多くの親戚に紹介されて楽しい食事を共にした事。ホストマザーの自然体で飾らず、強くてしつかりした人柄が魅力で、居心地がとても良かつた。短い滞在でも強く心に残り、全てが彼女なりのおもてなしだったと思います。私もなぜか心が強くなった気がしました。今でも良い思い出で、忘れません。最後に あの世界大会に参加された皆様、お世話になり有難う御座いました。とても楽しい時間で感謝しています。



ザリガニ料理のマグネット

2014 年 9 月、カナダの Winnipeg、N.Y. の Long Island でのホームステイ



ウェルカムパーティ(ウイニペグ)



テスラの運転席



Tesla



カナダの Winnipeg は Ukraine からの移民の方が多く、私と浜田聖子さんがステイした Dolly の親も移民組で、牧場などで成功した一人のようで、父親の名前を冠した道路がありました。彼女は翌年の 2 月に来日し、私は東武動物公園に併設されている乗馬クラブ、目黒雅叙園の 100 段階段(お雛さまなどが飾られる)浜田さんはディズニーランドなどを案内し、その後、次のステイ先の静岡に向かいました。

Dolly は活発な頼もしい女性でしたが、カナダの後に訪問した NY. Long Island の Michele はさらに素敵な女性でした。Michele は、Welcome Party では waitress style で NY 風の飲み物をふるまったり精一杯に歓待してくれました。彼女の次男が乗せてくれた Tesla は今でも時々思い出しています。

田中 加代

埼玉クラブの今年・来年の受け入れ・渡航の状況 三好 紀子

○2023年3月末 Greater Cincinnati Club を受け入れる予定です

○2022年8月のドイツへの渡航はヨーロッパの状況から断念します

Iris Kroll さんからのお返事 (Halle Saale Club)

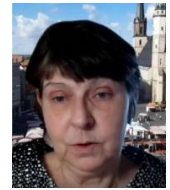
It is wise to postpone the exchange. Russia's war with Ukraine does not allow for anything else.

Maybe we will meet when peace reigns again – during the reconstruction in Kiev or elsewhere in Ukraine!

○2023年の Greater Kiev Club への渡航は不可能になりました。近い将来のクラブの再興を願っています。

Tanya さんからの email (Greater Kiev Club)

Our city Irpin has been destroyed, so we will not be able to return home for a long time. I am waiting for the official status of "temporary refugee from the war," then I can attend German courses and look for a job.



Iris 会長

国内交流委員会がスタート

増田 信枝



日光陽明門

「全国の皆さんをお迎えするプランを作しましょう」との三好会長の呼びかけに、7名の旅好きが集まり、国内交流委員会がスタートしました。

「全国の皆さんをお誘いしたい」「埼玉クラブの皆さんもお誘いしたい」「何よりも自分が行きたい」と思える場所？と話し合っ、目的地を長瀬と日光に絞りました。皆で分担して情報収集を行い、2つの大宮駅発着日帰りプランを作りました。舟での川下りがメインになる長瀬コースは天候のリスクが大きいので、今回は日光コースを実施する事とし、近々下見に行く予定です。

5月早々にはご案内をお届けできると思いますので、楽しみにお待ちください。

今後の予定

5月下旬予定		国内交流
5月29日(日)	10:00	理事会@シーノ 9F 学習室 1
	13:00	桜木公民館(シーノ 5F)講座室2 創立30周年記念事業準備会
6月19日(日)	10:00	理事会@シーノ9F 学習室 2(スマイルさいたま)
	13:00	桜木公民館(シーノ 5F)講座室2 創立30周年記念事業準備会
7月31日(日)		午前 理事会 午後 創立30周年記念事業準備会
8月		理事会の日程は未定
9月		理事会の日程は未定
10月26-28(日)		日本大会月岡温泉「華鳳」新潟クラブ担当

編集後記

思いもよらないウクライナへのロシア軍の侵攻に仰天し、日々震え上がるしかないのか、出来るのは寄付のみでしょうか。

ウクライナ大使館、ユニセフ、日赤、UNHCR など、信用ある組織を選んで私達の気持ちを届けたいものです。一刻も早い停戦を祈り、市民への被害が止むことを願います。

F.H.

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉

事務局 〒363-0026 桶川市上日出谷 138

TEL : 048-786-5598

会報編集担当：石橋、稲垣、田中、浜島、浜、原田、堀切

HP 担当：堀切

発行日：2022 年 4 月 25 日